

認知症になっても安心して暮らせるまちへ

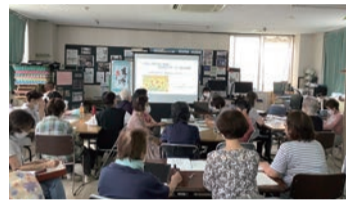
問い合わせ 西区 健康福祉課 高齢介護グループ(☎025-264-7330)

厚生労働省の研究では、認知症の高齢者が2040年には、584万人にのぼり、高齢者の約15%が認知症になると推計されています。認知症は、誰もが関わる身近なものです。他人事ではなく、身近に感じ、さりげないお手伝いをする事で、本人やその家族が住み慣れたまちで安心して暮らすことができます。

私たちにできること！一緒に取り組もう

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、本人やその家族を温かく見守る応援者です。学校や企業で、認知症サポーター養成講座を実施しています。認知症の症状や接し方などを講座で学びます。



講座を受けてみませんか

自治会や地域の茶の間、サークル活動団体、職場、学校などなたでも受講できます。開催を希望する団体・企業にはキャラバン・メイト(講師)を派遣します。申し込みの詳細は、市ホームページ(右の二次元コード)を確認してください。



はいかい模擬訓練

認知症の研究が進み、はいかい行動は理由も無く歩き回るのはなく、本人なりの理由があることが分かってきました。訓練では、はいかい行動について正しく理解し、はいかい行動をしている人を見かけた際に、どのように声掛けするかを学び、実際に体験してみます。



青のピブス はいかい者役
オレンジのピブス 訓練者

訓練に参加した人は「訓練で声をかける勇気が持てた。今後、はいかい者を見かけたら声をかけてみたい」と話していました。

訓練を受けてみませんか

今年度は10月下旬に青山小学校区で実施を予定しています。皆さまのお住まいの地域でも開催しませんか。詳しくは問い合わせ先にご連絡ください。

認知症を防ぐ・早期発見する

問い合わせ 西区 健康福祉課 健康増進係(☎025-264-7433)

検診・セミナーの申し込み

新潟医療センター予約専用番号

☎025-232-0126

受付月・水・金 午後3時～4時(祝日を除く)



行こう！認知症検診

簡易な認知機能検査を行って、「正常」・「軽度認知機能障がい(MCI)」・「認知症」のいずれかを判定します。

どんな検査をするの？少しご紹介します

「改訂長谷川式簡易知能評価スケール」を使い、質問への回答から判定します。所要時間約10分と、少ない負担で検査できます。

「受診」に抵抗がある人も、「検診」として気軽に受けられます。

たとえば、このような検査です

年齢はいくつですか？



〇〇歳です。



誤差2歳まで正解です

日時 令和6年9月～令和7年2月の火・木曜(祝日を除く)午後1時30分～2時30分 1人15分程度

会場 新潟医療センター(小針3)

対象 西区在住で令和7年3月末時点で65歳以上になり、これまで医療機関で認知症と診断されたことがない人 各日先着4人

料金 無料(追加検査、治療などにより別途費用がかかる場合あり)

受けよう！認知症予防セミナー

認知症の基礎知識や予防のための生活様式など、5つのテーマを2回コースのセミナーで行います。

	講座内容	講師
1回目	健康を守る食事	管理栄養士
	運動と作業活動のすすめ	理学療法士、作業療法士
	認知症を知る	医師、認定看護師
2回目	認知症予防につながる心の持ち方	公認心理師、認定看護師
	お口の健康と脳	歯科医師、歯科衛生士



会場	日時			定員
新潟医療センター	1回目	9月	20日	50人
	2回目		27日	
黒埼健康センター	1回目	10月	11日	80人
	2回目		18日	
内野まちづくりセンター	1回目	11月	8日	48人
	2回目		15日	
坂井輪地区公民館	1回目	12月	6日	24人
	2回目		13日	
	1回目	1月	24日	
	2回目		31日	
新潟医療センター	1回目	2月	14日	50人
	2回目		28日	

認知症検診・セミナーの詳細は市ホームページ(右の二次元コード)に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

